

2020年11月18日

ソニー生命保険株式会社

太陽光発電設備「そらべあ発電所」を大分県の保育園および山形県の幼保園へ寄贈することを決定 ～NPO法人そらべあ基金を通じた「そらべあ発電所」の寄贈は、累計12基となります～

ソニー生命保険株式会社（社長 萩本 友男）は、地球温暖化防止を目的にグリーン電力普及啓発活動を行うNPO法人そらべあ基金（東京都港区、代表：富田 秀実氏、以下「そらべあ基金」）（*1）の「そらべあスマイルプロジェクト」（*2）を通じて、大分県の有限会社 日興商事 やまなみ保育園（園長：日高 清志氏）に当社として11基目、山形県の学校法人 龍華学園 南沼原ひまわり幼保園（園長：金澤 広善氏）に当社として12基目となる太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈することを決定しました。

今後は、「そらべあ発電所」の設置に関わる手続や工事等を実施後、寄贈を記念して、同保育園、幼保園にて「そらべあ発電所寄贈記念式典」を2021年2月～3月をめどに行う予定です。

なお、今回の寄贈は「そらべあスマイルプロジェクト」として、大分県、山形県ともに初の寄贈となります。

活動の趣旨

お客さまの利便性向上および環境保全活動の一環として、当社では、ご契約時にお客さまにお渡しする「ご契約のしおり・約款」について、従来の「冊子版」に加え、「CD-ROM版」（2010年3月以降）「Web版」（2017年7月以降）をご用意しています。「CD-ROM版」「Web版」を希望されたお客さまの数に応じ、削減された印刷関連費用の一部を積み立て、再生可能エネルギーの普及啓発と環境教育などを行う「そらべあ基金」に寄付を行っています。

また、2020年7月より「CD-ROM版」を順次廃止し、「Web版」の更なる普及を目指しており、使用する紙の量の削減だけでなく、CD-ROMの原材料の削減にも配慮しています。

この取組に多くのお客さまからご協力いただきました結果、集まった寄付金をもとに、当社として11基目、12基目となる太陽光発電設備「そらべあ発電所」を大分県の有限会社 日興商事 やまなみ保育園、山形県の学校法人 龍華学園 南沼原ひまわり幼保園へ寄贈することになりました。やまなみ保育園、南沼原ひまわり幼保園とも、環境教育に対する意欲が高いことから、「そらべあ基金」により今回の寄贈先として選ばれました。

当社は、これからも環境保全に向けた継続的な取組を進めるとともに、「そらべあスマイルプロジェクト」を応援していきます。



やまなみ保育園、南沼原ひまわり幼保園へ寄贈する太陽光発電設備等

<やまなみ保育園（大分）>

メーカー：アンフィニ株式会社

外径寸法：1640×992×35mm

パネル枚数：10枚

定格出力：3.3kW

年間発電量予測：4,171kWh

(同園の年間消費電力の26%)

<南沼原ひまわり幼保園（山形）>

メーカー：アンフィニ株式会社

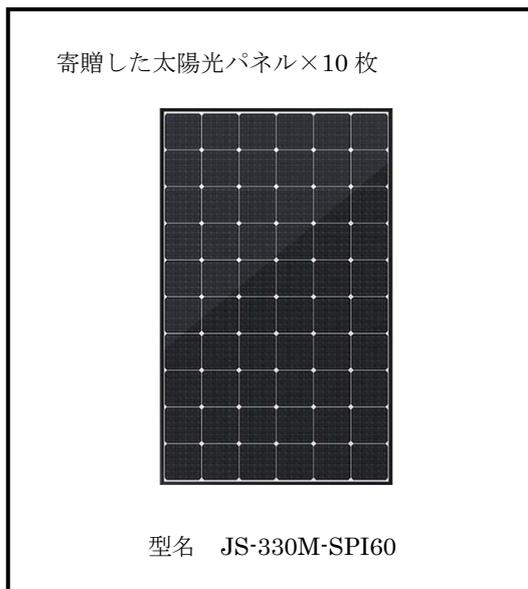
外径寸法：1640×992×35mm

パネル枚数：10枚

定格出力：3.3kW

年間発電量予測：3,628kWh

(同園の年間消費電力の4%)



(*1) 「そらべあ基金」とは、ホッキョクグマのキャラクター「そら」「べあ」をシンボルに、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの普及啓発と環境教育などを行うNPO法人です。

(*2) 「そらべあスマイルプロジェクト」とは、「そらべあ基金」の活動に賛同する企業・個人からの寄付をもとに、太陽光発電設備「そらべあ発電所」を全国の幼稚園や保育園に寄贈する取り組みです。「そらべあ発電所」を設置することで、多くの子どもたちの環境に対する関心を高めることを目的としており、全国から「そらべあ発電所」設置を希望する幼稚園・保育園を募集して、「そらべあ基金」の選定基準により設置する幼稚園・保育園を決定します。当社として11基目の募集では全68園、12基目の募集では全89園の幼稚園・保育園からご応募がありました。「そらべあスマイルプロジェクト」の詳細は下記URLをご参照ください。

<https://www.solarbear.jp/smileproject/>

以上